

# 白川風土記

第二地

三六	二九一八三	和書門
冊架函號類		

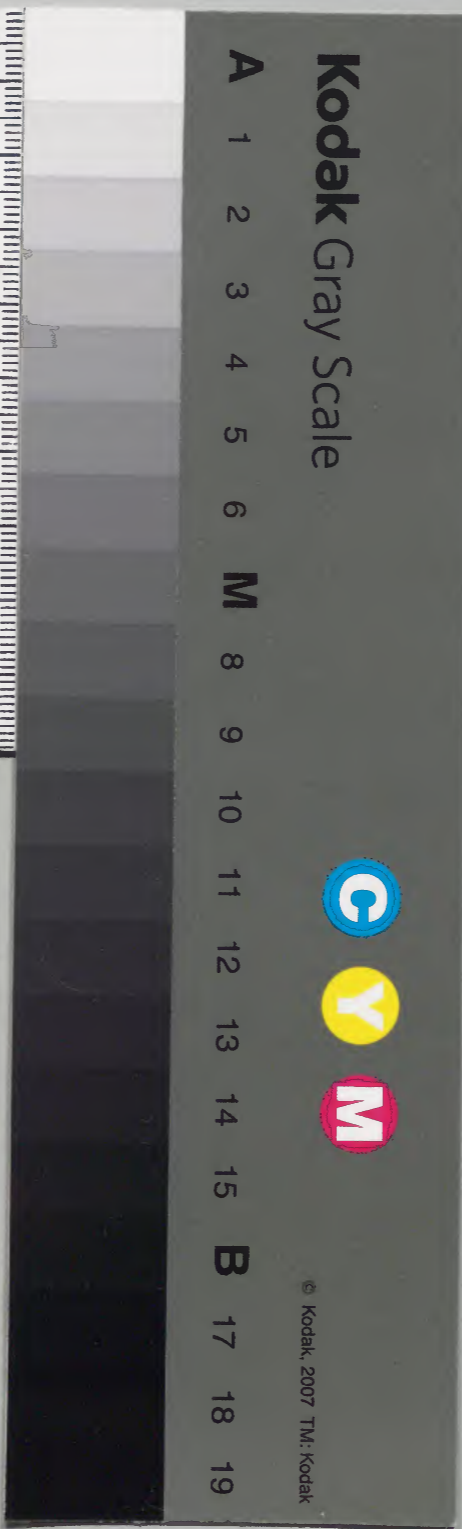
二七四	二九一八三	和書類
函架冊號類		



内閣文庫  
地

内閣文庫	番號	和 29183
	冊數	36 ( 14 )
	函號	174 287

十三



白川風土記稿

城東二箇村

十三



内一〇九六〇號

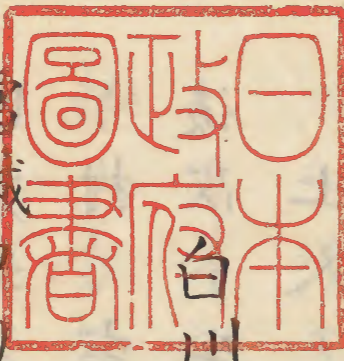
関 3

白川原上信誦

十三



風土記卷之十三



白川郡笹原莊鷹巢郷鏡沼組



當城ヨリ 寅ノ方行程五里十八町ニアリ 往古ヨ

リ三城目ト云濫觴ハ元來館跡ニシテ本丸ヲ鷹

巢城トイハ二ノ丸ヲ乳母館トイハ三ノ丸ヲ應

神館ト云三郭連リテ三字形ニ似タレハ斯ハ命

ケシトナシ神龜年間和州ヨリ大學ナル者來リ

テ代々コレニ居ル 壽永年間源義經朝臣奥州進

三城目村 端村 新田村 町丁ニ作シ 後皆コレナリ

葦ノ時此館工休ニナト云傳

其後元龜天正ノ間ニ至リテ當國中畑城主中  
上野介晴辰ニ押領セラレ始テ三城目村ヲ置  
ノ郷ニ村長サ南北四町四十七間戸數八十八軒  
西側ニ連ル東南ニ田所ヲ受タリ五街道ノ一  
街道ニシテ高賈運輸中畑村小作田工通ス又當  
國岩城ノ往來須賀川ヨリ當村川邊村工出ルナ  
リ村ノ中程ヨリ東ニ些ノ小路アリ東小路ト云  
後改テ牛房町ト名ク  
土人ノ記ニ本多能登守忠義當國領主ノ時矢  
吹村ノ別莊ヨリ當村工遠乗アリシ折カラ東

畑  
伊藤  
家内

小路ハ宜キ地ナリトテ多ク牛房ヲ植シムル  
ニ味ニ甚佳ナリ其ヨリ庵厨ニ具フト云コレ  
ヨリ牛房町ノ號アリト  
北ノ方五町十八間ニ陳ケ岡館山ノ東腰ニ新田  
アリ近年荒地池ト云所ニ新田開發片時龍崎ノ民戸六軒ヲ移ス  
ト云四達ノ行程ハ東中村工二十町地堺ハ阿武隈  
川向藤壇ト云所迄十町許西ハ高田領須乗村工  
二十三町程地堺迄二十二町程南ハ神田村工十  
八町地堺八坊塚迄九町二十三間北ハ成田村工  
二十二町

植作

年作テセシ改

高札場一箇所 村ノ中程ニアリ  
官並日並リ令セラル、掟條目ヲ掲ク

山川

阿武隈川

村ヨリ寅卯ノ方九町餘ヲ隔ツ幅五十間許渡場

一ヶ所龍崎村中村小高村ニ通ル舟渡ナリ

井堰

荒池

村ヨリ未申ノ方十四町許ニアリ東西百間南北

百四十間田所三十町程ノ養水トナル下流ハ村

ノ西端ヲ過テ北端ニ灌ク大學釣岩龜ヶ淵ト云

所アリ大學釣岩ヶ淵下部

竹箇作溜

村ヨリ申ノ方十町許ニアリ東西二十五間南北

十五間田所八段ノ養水トナル

善田溜

村ヨリ南ノ方八町許ニアリ東西三十間南北十

五間田所二町許ノ養水トナル

高ホ口溜

村ヨリ申ノ方七町許ニアリ東西十五間南北十

間田所八段許ノ養水トナル

前吉溜

村ヨリ辰ノ方十町許ニアリ東西二十五間南北

十八間田所三町許ノ養水トナル

中吉溜

村ヨリ巳ノ方八町許ニアリ東西三十間南北二

十間又一箇所東西十八間南北十二間合テ田所

二町五段程ノ養水トナル

三池

村ヨリ巳ノ方六町許ニアリ東西二十間南北二

十間一ヶ所東西二十二間南北二十間合テ田所

一町八段許ノ養水トナル

戀澤溜

村ヨリ北ノ方六町許ニアリ東西二十五間南北

十五間田所七段許ノ養水トナル

池入溜

村ヨリ北ノ方六町許ニアリ東西二十五間南北

十六間田所一町許ノ養水トナル

岡田前溜

村ヨリ亥ノ方四町許ニアリ東西十五間南北十

三間田所一町許ノ養水トナル

後作田溜

村ヨリ西ノ方四町許ニアリ東西十六間南北十

八間田所一町四段許ノ養水トナル

角惣内溜

村ヨリ西ノ方六町許ニアリ東西十間南北十八

間田所六段許ノ養水トナル

同所

村ヨリ西ノ方八町許ニアリ東西十二間南北七

間田所四段許ノ養水トナル

村ヨリ西ノ方十二町ニアリ東西十間南北六間

田所二段五畝ノ養水トナル

村ヨリ十五町申ノ方ニアリ東西十間南北八間

田所八段五畝歩ノ養水トナル

村ヨリ午ノ方十六町ニアリ東西十五間南北十

間田所八段五畝歩ノ養水トナル

東内溜

東内溜

東内溜

東内溜

村ヨリ午ノ方四町ニアリ東西十二間南北七間  
田所五段五畝歩ノ養水トナル

村ヨリ午ノ方五町程ニアリ東西十間南北八間

田所五段許ノ養水トナル

兵衛塚溜

村ヨリ未ノ方十五町ニアリ東西十二間南北八

間田所四段許ノ養水トナル

明部池

村ヨリ戌ノ方十七町ニアリ東西八間南北七間

田所二段許ノ養水トナル

竝柳溜

村ヨリ戌ノ方十五町ニアリ東西七十間南北五

十間田所二十三町一段ノ養水トナル

關根溜

村ヨリ酉ノ方七町許ニアリ東西十二間南北八

間田所二段五畝歩ノ養水トナル

原池

村ヨリ南ノ方十町許ニアリ東西三十五間南北

十五間田所一町八段ノ養水トナル



五秣場

村ヨリ東ノ方八町許ニアリ

八町四方ナリ

牡丹平

村ヨリ西ノ方十八町許ニアリ

神社

御靈宮

社地東西二十一  
間南北十九間

別當 景政寺

村ノ中程西側ニテ又

登ルコト五間ニシテ本社ニ至ル

五郎忠通朝臣桓武帝第四皇子及ヒ鎌倉權五

即景政ノ靈ナリ初メ  
後朱雀帝ノ時忠通朝臣鎮守府將軍ニ補シ相摸權

守ニ任シ鎌倉長尾郷ニ住ス鎌倉系圖ニハ鎮守府ニ

五子アリ長ハ三浦平太夫為通三浦ニ住ス次ハ鎌

倉權頭景成大庭ニ住ス三ハ鎌倉四郎景村洛ノ一條四

ハ梶原權太夫景通梶原ニ住ス季ハ即チ景政ナリ

聲力絶倫九歳ノ時其力ヲ試ルニ尋常ナラス十

歳克戰場ニ赴クト云

鎌倉系圖ヲ攷ルニ忠通二男景通鎌倉權太夫

梶原ノ祖三男景成鎌倉權頭大庭ノ祖四男景

村鎌倉四郎トアリテ景政ハ景成カ子ヲ行ニ  
アリ是ニ據レハ景政ハ忠通カ孫タルカ景村  
ハ四郎ト稱スレハ四男タル明ケニ  
永保二年清原武衡家衡カ叛ルニ源義家朝臣救  
ヲ奉ニ發行ノ時忠通朝臣副將軍タリ景政モ父  
ニ從ヒ戰功アリ羽州厨川ノ合戦ニ鳥海彌三郎  
カイタル矢景政カ左眼ニ中ルソノ矢拔スニテ  
終ニ彌三郎ヲ射殺スト時ニ十六歳ナリ  
景政カ事ハ與羽軍  
記ニ見エ其後忠通朝臣ハ年七十一ニ至テ陳中ニ  
卒ス寛治三年九月十九日ナリ

堀河帝ノ時忠通朝臣ハ耆老ニシテ忠節軍功少カ  
ラストテ其靈ヲ鎌倉長尾郷ニ祭り御靈宮ノ號ヲ  
贈リ又則チ景政兄弟五家流ノ氏神トス景政ハ  
當國奥州ノ五郡常州ノ二郡ヲ賜ヒ奥州白川郡竹貫  
鎌田ノ城主トス因テ鎌倉ヨリ御靈宮ヲ三城目  
ノ郷ニ移シ南臺山ニ勧請スト云康治二年九月  
十八日景政六十八歳ニシテ卒ス其靈ヲ御靈宮  
ニ祭り又鎌倉長尾郷ニモ合祭ル後代武門ノ守  
神ト敬ヒ善ヲ利シ惡ヲ罪シ或ハ復讐ノ望アル  
モノ或ハ目疾ヲ患ルモノミナ祈請スル擁護アリトナン

九月十八日十九日ヲ祭日トス忠通朝臣及ヒ景  
政ノ忌日ナレハナリ縁記ニ忠通朝臣ハ江島辨  
才天ノ文德帝仁壽三年ニ慈覺大師ノ創造ナリ化身ナリ因テ毎歳十  
月上巳ヲ御靈宮ノ祭トス故ニ氏子以モ蘆毛ノ馬  
ニ乗ラス餘ヲ喰ハストナリ初御靈ヲ祭ル時社地ニ  
井ヲ掘ルコト九ツナリシカハツハ水湧キ一ツ  
ハ潮生シ餘有ナニト瑞アリト云  
一説景政兄弟五人ノ靈ヲ加祭り長ク子孫ノ  
守ル所トス因テ忠通朝臣ヲ御靈宮ト稱シ其  
餘ハ五靈宮或ハ五流宮ト云又爲通ヲ三浦ニ

景成ヲ大庭ニ景村ヲ白井ニ景通ヲ梶原ニ景  
政ヲ三城目及足利ニ祭ルカ如ハ後世其領所  
ニ就テ勸請スレハナリ又鎌倉志ニ御靈宮ハ  
長谷村ヨリ西南ノ方ニアリ鎌倉権五郎景政  
カ祠ナリ又云梶原村ハ梶原平三景時カ舊地  
ナリ此所ニ鎌倉権五郎景政カ祠アリ長谷ニ  
アル御靈宮ノ本ナリ鎌倉系圖ヲ攷ルニ景政昔此  
邊ニ居住シタル故其宮ヲ爰ニ立タルナラン  
東鑑ニ建久五年正月御靈ノ社御奉幣八田知  
家御使タリト御靈ノ社ノ事往々見タリ然レ

トモ忠通朝臣ヲ祭ルノ事ナシ  
本社六尺四方勾欄ヲキ東向板葺  
拜殿東西二間南北四間三尺萱葺  
幣殿東西二間南北九尺  
瑞籬東西五間南北四間  
石鳥居高サ一丈幅八尺

神寶

- 一 軍配團扇 中ニ(休)ノ如キ紋アリ  
文字金ナリ直リ三寸
- 一 黒骨扇 骨五本ニシテ長サ八寸十  
一面觀世音ノ像ヲ画ク
- 一 景政守本尊十一面觀世音 秘佛ナリ因テ  
形像詳ナラス

應神八幡社宮

社地東西五十  
間南北三十間

社家 岩谷中勢

村後ノ西ニアリ石階ヲ陟ルコト八間許小社ニ  
シテ勾欄キ祭神體ハ譽田別尊應仁帝  
ノ諱ヲ祭ル鉄像  
長ケ四寸ハカリト云傳フ深ク秘シタルハ形像  
詳ナラストソ往古鷹巢ノ館主大學伊藤氏  
舊家ノ記ナル  
モノ其三ノ郭應神館ニ勸請アリシカ天正ノ比  
中畑上野介晴辰今ノ地工移スト云其後字ヲ岡  
田兵部山下稱ス祭禮ハ八月十五日ナリ  
石鳥居高サ九尺幅六尺

熊野權現社

社地東西十二  
間南北三十間

別當 城見寺

村ヨリ西三町許ニアリ石階ヲ渉ルコト十間小  
祠ナリ祭禮ナシ  
石鳥居高廿七尺幅六尺  
中城土岩清水八幡社社宮社地東西五十間南北三十間別當常法院  
村ヨリ西五町許ニアリ街道ヨリ平地二十五間  
ニシテ石階アリ渉ルコト八間本社ニ到ル東向  
小社ニシテ勾欄ツキ神體ハ鑄像長々五寸許ナ  
リ天正元年中畑晴辰ノ勸請卜リ祭禮ハ八月十  
五日ナリ  
石鳥居高十九尺幅七尺

村ノ南端ニ山ノ頂ニアリ石階ヲ渉ルコト二十  
間小祠北向寛文元年辛亥ノ勸請ナリ祭禮ハ六  
月十五日  
村ノ南端ニ山ノ頂ニアリ石階ヲ渉ルコト二十  
間小祠北向寛文元年辛亥ノ勸請ナリ祭禮ハ六  
月十五日  
村ヨリ東二十町許畑中ニアリ石ノ小社寛文元  
年ノ勸請ナリ祭日ハ十一月朔日  
稲荷社社地東西七間南北三間別當城見寺  
村ヨリ申酉ノ方四町許ニアリ小祠ナリ寅卯ニ  
面ス往古鷹巢城ノ見エタリ古蹟ノ記鬼門ニ當リニ工勸

諸アリト云傳ノ因テ鬼門縮荷ト云祭日六二

月初午申酉酉四酉小酉寅酉

鳥居二基 其二高廿七尺幅六尺

半社蛭社兒社大神宮社家小磯土佐社

村北ノ尾三山ノ半腹ニアリ石階ヲ登ルコト十

間小祠ナリ祭ハ十月二十日

拜殿五東西三間南北二間翼ニ向

石鳥居高廿九尺幅七尺

林ノ南端愛宕社社地社二十社別當ノ新山寺

村ノ北端新山寺後山ニアリ石ノ小祠ナリ祭ハ

六月二十四日

石鳥居高廿八尺幅六尺

白山權現社社地社東西四十間社別當ノ澄江寺

村ヨリ六町許南ニアリシカ今ハ澄江寺側ニ移

シ又小祠南向祭禮ナシ

鳥居高廿七尺幅六尺

市神社別當ノ常法院

村正伊藤左内ナル者ノ後園ニアリ天正年間當

村開葺ノ時高廿二尺五寸幅一尺程ノ將棊頭ノ

古碑文字不詳ヲ得テコレヲ市神ニ勸請ス毎年伊藤

家ニテ青萱ヲモテ假ノ叢祠ヲ作シテ祭リ又九月十九日ナリ一ノ五ノ一ノ入ノ 寺院

景政寺

境内東西十二間南北二十四間

村中西側御靈宮ノ隣ニアリ天台宗ニテ當城郭外本町永藏寺ノ末ナリ山號ヲ南臺山院號ヲ東光院ト云初永福寺ト名ク鎌倉權五郎景政ノ廟アルヲモテ今ノ寺號ニ更ム東光院ハ即チ景政ノ法號ナリ其後天正二年圓海和尚開基中興ス寶永年間回祿ニカハリ縁記古傳隻字モ残ラサ

レハ開山年代知カタシ

客殿 東向横五間、豎六間、本尊藥師如來長一尺

七寸五分木佛立像厨子入聖德太子ノ作

庫裡 三間三尺ニ六間三尺

山王權現社 石小祠

藥師堂 二間四方

什物

一伊多川

一松尚好

三夢之云

山

壬午年八月

三月

东老院

五十一部



石川昭光書

先建公是川子立親希望  
海之如之少修之好宗以在  
義親、今年請、桑石句編  
大細在、海念、任入、書  
所以、年、也、止、打、越、是、所、也、  
前、部、中、者、可、以、了、解、也、

夕

昭光

東光院

少子之は不取第年右  
也、或る事、口惜有  
持合身、然と元、以表少存  
元、或る事、目、好、と、期、深  
笑、河、上、事、名、事、以、而、笑、と、下  
子、片、境、

此  
去、年、下、宮、と、元  
子、事、通、し、事  
少、能、如、事、

行小

新、事、

新、事、

東孝院

山神

女孝礼之山を建ちて行神訓  
は是女とて年々念にありけり  
ありては山神を祀る事あり

比叡新法杖の如敷加るは山神  
小集の如く尤も山中に細く  
一山中に月打音の如く  
中集の如く年々山神を祀る事あり  
系中を深居して山中にありて  
山神を祀る事あり

為部之

也原之殺何

伊予守中法為元

三言ハ多先

氏之死

云ノ

多氣

東光院

多谷

伊達政宗昏

此以海軍向來其用勝

力以王義室古思古

極子其心元迄中内以候即

中迄中迄中迄中

中迄中迄中迄中

心下美乃丸正者補海派  
中亦乃亦正者補海  
之祥

引登親書  
之

東花院

白川義親書

然諸人志性志遠心朱越  
其色之志亦仍其金亦義用  
而亦亦志之其民中乃志其

何方と相違下越一申用不  
多割の古く神小正原  
し聖一初八少田  
そ清

南宮中  
末光院

白川義親書

如雲

如雲氣

如雲

如雲

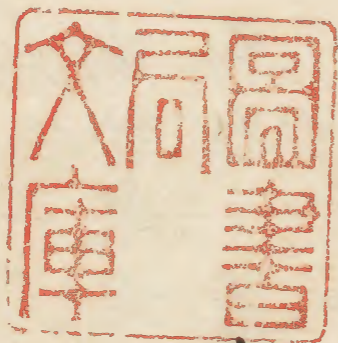
如雲

如雲

如雲

如雲

如雲



東京一之八

向多一之八

但多一之八

已一之八

平白乞一之八



向多一之八

但多一之八

已一之八

平白乞一之八

東京一之八

向多一之八



澄江寺

境内東西五十間南北六十間

村中東側ニアリ曹洞宗ニテ當國岩城菊田郡滝  
村建龍寺ノ末ナリ院號ヲ青林院ト稱ス貞和三  
年丁亥結城七郎晴朝ノ先注按白川結城晴朝十レ孫ラクハ文字ノ誤ナルニ不詳澄江心光大禪定  
尼ノ為ニ建ル所ト云其後晴朝ノ苗裔上野介晴  
辰當國中畑ヲ領セシ時再ニ建立ニ大通禪師ヲ  
本寺ヨリ迎正テ開山トス永祿七年甲子ナリ夫  
ヨリ天正十一年癸未ニ至テ當村工移城ノ時寺  
モ亦コノ地<sub>エ</sub>移シ又晴辰ノ墳墓ハ村ノ北端ニ  
アリ村寄附ナリ

容殿 南北八間三尺東西六間三尺本尊釋迦如  
來長一尺木佛坐像厨子入殿ハ大破ニシテ礎許  
ナリ

庫裡 東西七間南北四間  
衆寮 五間ニ六間

真光坊 境内東西十五間南北八間

村ノ中程ニテ澄江寺ニ隣ル當村景政寺ノ門徒  
ナリ開基詳ナラス延寶元年癸丑了海和尚中興ス  
ト云

容殿 東西七間南北三間本尊大日如來長六寸

木佛座像厨子入

境内二十

新山寺

境内四方

村ノ北端ニアリ開基詳ナラス

容殿 東西五間南北三間本尊大日如来長一尺

木佛座像厨子入

城見寺

境内東西四十間南北十三間

村中ヨリ東牛房町ニアリ真言宗ナリ光稻山慈

眼院ト號ス中畑上野介晴辰鷹巢城ノ鬼門ニ稻荷

ノ社ヲ觀請ス神社ノ記ニ見エタリソノ別當ノ為ニ此寺ヲ

置ク故ニ山號寺號斯ク名ケシト又城中ニ慈眼

院廓ト云所アルヲモテ院號トスト云其所今モ

アリ晴辰ノ祈願所ナリ天文元年壬辰宿儀和尚

ノ開基ト云天正年間晴辰没落ノ後今ノ牛房町

工移シテヨリ當村ノ祈願菩提ノ寺トハナリ又

容殿 東西七間南北五間本尊千手觀音木佛立

像長二尺一寸臺座合テ四尺五寸作詳ナラス容殿

ハ寛政十二年回祿シ後未タ造營セス

三寶荒神 長六寸五分臺共ニ一尺五寸木佛座

像行基菩薩ノ作

常法院

境内東西七間南北三間

村ノ南端面側ニアリ本山派修験ノ本山派アリ天文年間常見房  
ノ開基ナリ本尊不動明王長一尺木佛立像院中ニ安置ス

古蹟 身木村

鷹巢城

村ヨリ坤ノ方六町十八間ニアリ元來鷹巢館乳

母館應神館ノ三郭ヲ三城目ト唱フ村ノ條ニ往古

神龜ノ比和州ヨリ大學ナル者來テ館主トナル

伊藤氏ノ記ニ後累世ヲ經テ永祿年間ニ中畑上野介

晴辰ニ押領セラレ廢城トナル墟高十間許周廻

十町程空隍所ニ殘レリ絶頂平地ニ立テ東西

四十間南北五十間アリ本城蹟ト云義經朝臣

腰掛石辨慶手突石駿馬ノ蹟ナト云ル所アリ

陳箇岡館

村ヨリ北五町十八間ニアリ高十間周廻七町五

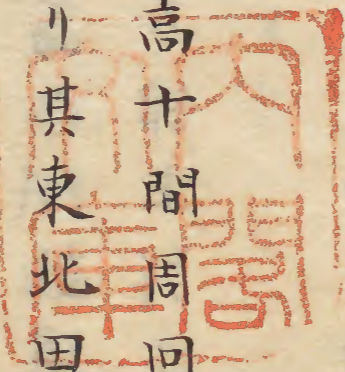
十七間程東腰ニ新田數家アリ其東北田所ヲ障

テ龍崎村阿武隈川ヲ臨風景最佳ナリ昔シ家隆

朝臣ノ門弟ナル者登臨ノ折カラ阿武隈川ハ第

一ノ景ナリトテ圖セラレシト古老ノ云傳エ

又館主詳ナラス村寄附ニテ城見寺地ナリ



郷藏地館

村ヨリ申ノ方一町許ニアリ東西二十三間南北三十間<sup>今</sup>畑トナル館主詳ナラス

和田館

村ヨリ西ノ方八町許ニアリ高六間餘周廻山續ニテ幾許ト云ヲ知ルヘカラス館主詳ナラス

古館

村ヨリ三町許午ノ方ニアリ東西十四間南北百二十六間<sup>今</sup>畑トナル館主詳ナラス

澤尻館

村ヨリ午ノ方二十町許ニアリ東西一町南北一町餘<sup>今</sup>曠野トナル館主詳ナラス

小松館

村ヨリ辰ノ方八町許ニアリ東西十間南北九間<sup>今</sup>畑トナル館主詳ナラス

大學釣岩

荒池ニアリ平生水際ヨリ出ルコト些二寸許直リ四尺程ノ石ナリ往古鷹巢館主大學ナル者釣ヲ垂レシ所ト云因テ名クトナン

亀ヶ淵

赤荒池ニアリ往古コノ邊ニ巨亀浮リト云<sup>ハ</sup>リ  
故ニ淵ノ名トス今モ邂逅ニハ出ルコトモアリ  
又トイ<sup>ハ</sup>ヒキ

石鼻

村ヨリ未申ノ方八町十四間應神館南端ノ路傍  
ニアリ昔シ應神八幡ヲ觀請シケレハ猿太彦太  
神ノ現レテ八幡工對顔アリシ所ナリトソ岩ノ  
稜猿ノ顔ニ似タル所アレハ猿太彦ノ鎮座ナリ  
トテ石工ナント尊敬シタリ今モ其所ノ石ヲ切

ラス指サスモノ夕モナカリキ

寺隱

村ヨリ坤ノ方十二町許ニアリ中畑新田街道ノ  
北邊ナリ往古鎌倉ノ兵亂ニ建長寺ノ住持空谷  
禪師ナル者午午觀世音コノ觀世音ハ源頼朝朝臣ノ守本尊  
ト云今隣村ノ岩法寺ニ藏ル所ナリ  
手ノ歩卒此所マテ追誥タレト終ニ其所在ヲ失  
ハ<sup>リ</sup>ト云夫ヨリコノ山ノ字トハナリス

貝ヶ淵

村ヨリ東十二町許ニアリ即チ阿武隈川ナリ龍

崎村工流テ瀧トナル 滝崎村ノ條 瀧ヨリ下ヲ古經  
田ト云昔シハ此所ニテ漁獵ヲ業トシ日毎ニ數  
百ノ鮭ヲ網ニテ取り往来ノ旅人ヲ詔ラヒ老稚  
ヲ擇ハスソノ鮭ヲ脊負シメテ前田川ト云驛所  
マテ運輸スルコトトハナレリ或時一人ノ山伏  
来リケルニ件ノ鮭ヲ強テ負シメケレハ山伏大  
ニ嗔リ真言ヲ修シ螺貝ヲ瀧壺工投シ走り去又  
其時彼螺貝水ヲ噴キ頻ニ鳴渡リ川上ニ登レリ  
漁者驚テ貝ノ行所ヲ慕ヒ見ルニ當村ノ邊ニテ  
貝少シク止リ又後世コノ所ヲ淀ノ目ト字セリ

又ソレヨリ大ニ鳴渡リ暫シ登リニカ終ニ沉シ  
又此所ヲ貝ヶ淵ト唱フ古今コノ淵ノ埋ルコト小  
更ニナシトナン中ニモ不思議ナルハ安積郡邊  
迄ハ鮭登リシカ岩瀨石川白川ノ三郡 共ニ阿武隈川ノ經ル所  
正ハ登ルコトナシト古老ノ語リシカ近年ハ漸  
ニ登リ又元徳年間農夫忠右衛門ナル者貝ヶ淵  
エ石ノ祠ヲ置水神ト崇敬セリ又淵ノ邊ヨリ長  
堤ヲ築キ百間堤ト名ツク

中丸山

村ヨリ西ノ原ニアリ永正年間鷹巢館主大學ナ

ル者病ニ罹リシ時夢中ノ歌ニ  
三ッ城ノ主ノ家ノ久シキハ中丸山ノ靈ヲ移シテ  
ト詠シテ病愈エ又ト云ソレヨリ斯ク名垂ル山  
トハナリ又按ニ爰ニ永正ノ大學ハ始ニアル  
神龜ノ大學ノ子孫子孫ナルカ  
崔卷田  
村ヨリ卯辰ノ方八町許ニアル田所ナリ昔シ彼  
田工崔多ク下リタルカ農夫来リケレハ崔立揚  
リ虚空ニテ數回舞ヒシ折カラ金ノ短冊ヲ落シ  
又故ニコノ田ノ字ト呼習セリ今モ崔ノ渡リシ  
時ハ田上ニ舞フコトアリト云傳短冊ハ村正伊

藤家下注コトニ傳エシカト十五郎鷹巢館主大ナル者ニイ  
タリテ領主本多能登守忠義工贈ルト云因テ其  
短冊ヲ見ルコトナシ

蝦夷穴

村ヨリ十六町許東南ノ山ノ半腹ニ穴三ツアリ  
亘リ四尺許廣サ七尺四方形此邊田所蝦夷穴前  
ト字ヲ唱フ

舊家

伊藤左内

其先ハ和州大黒邑ノ人ニテ武内宿禰大臣ノ苗

齋ナリ神龜年間故アリテ當國工下リ三城目郷

舊巢乳母應神ノ三郭ヲ三城目ト唱フ村ノ條ニ詳ニ載セタリノ館主トナル大臣ノ大字

ヲ取テ大學ト號ス應神八幡ヲ郭中ニ安置ス其

夜俵田彦太神現レ八幡工對顔アリト云其所ヲ

石鼻ト稱セリ後累世ヲ經テ藤大學ト改ム壽永

年間源義經朝臣真州進發ノ時藤大學ヲ至トス

文治年間下向ノ時モ亦過リ又ト今モ古墟ノ蹟

ニ義經朝臣ノ牌掛石辨慶年突石駿馬ノ蹟ナト

云ル石アリ石鼻腰掛手突ノ類共ニ古蹟ノ條ニ詳ナリ建久年間曾我十郎

五郎ノ孫縁ナル者故アリテ當國工下リ藤大學

カ養子トナル因テ祐ノ字ヲ名乗トスコレヨリ

伊藤ヲ氏トス永祿年間ニイタリ大學祐春カ死

後ニ其嗣左馬之助祐勝未タ幼稚ナリシカハ中

畑上野介晴辰ニ押領セラレシカ情ケニヤ祐勝

成人ノ折カラ舊領ノ内若干幾許ノ地ヲ賜ヒ屋宇ヲ

連子今ノ村トハナリ又天正ノ末ニ晴辰仙臺政

宗ニ降参ノ後大閤秀義公吉ノ代ニ檢地トナル慶

安年間ニ至テ本多能登守忠義當國工封ニ就テ

始テ村正トナル忠義ノ命アリテ曾我兄弟ノ名

ヲ取り十五郎ト稱シ三ツ藤巴ヲ家紋トス武具



馬具ヲモ賜リシトナシ其後奕世大庄屋久リ藏  
スル所古文書等ハ左ニ出ス

源義經朝臣書 原書ハ己失メ區ヲ傳

奥列下今之刻

聖子中傳用我

將軍新孫縁可

陛下者也

文治五年

二月日

源義經

由

源氏

亦度

丹羽長重知方書

右長重の子

領知方

白川郡

三城岡村

合指石



右長重記宛行系山林竹木

川等小物水田臨々全一合

知方書

寛永八年

春日十音

長子也

伊藤右馬之助

家系ヲ按スルニ此右近ハ大學祐春カニ男ニ  
シテ兄左馬之助祐勝カ嗣トナル實名ヲ祐吉  
ト云

加藤明利知方書

奥野何某ノ藏因ミアリテ  
今伊藤左内ノ藏トス

安道郎等村之

内之知方也

百之拾石ノ中令

枝助日平全今

知事也

寛永拾七年 卯利五  
之月音

奥野何某ノ蔵因ミアリテ

加藤民部具足注文書

奥野何某ノ蔵因ミアリテ  
今伊藤左内蔵トス

具足注文

一 とう 卯 け ぐ こと とう こと 人の あり せぬ の 屋  
口 ころ ころ 同 文 日 あり せぬ け 卯 こと ころ ころ  
の あり あり せぬ さん さん さん

一 あいりけきしうのほのさびしき  
一 せきんせきせいのせいしうけいのねいあまん  
一 どんち  
一 けさんせきあまうりあまうりこりー政中さ  
一 とうきりあをせり  
一 うーけいあまをせりあま下  
一 せきあの中とうきんくまやうめ  
一 とうきんとうきんくまやうめひるふあ  
あまのせい

一 甲頭あうとうきんくまやうめあまをせりあ  
一 せりーあまのせいしうあまをせりあ  
一 とうあまをせりあまをせりあ  
一 せり  
一 せきんあまをせりあまをせり  
一 ちあまをせりあ  
一 あまをせりあ

あ

寛永七年

三月五日 氏戸判

伊藤左内蔵

紀州家書 伊藤左内蔵

安房守力之進氣

之持中久之由也

之京去久之在也

河陽知内殿之

左重之之役之

入合之成地也

山程部後音

紀行古語

月歩年 粧室五

粧室身取

人物

農夫

負右衛門

負右衛門ハ極メテ貧ニシテ家族ヲカリシカ而  
親エヨク事エリ殊ニ父久右衛門多年中風ノ病  
ニ罹リシ折カラ晝夜心ヲ委子父ノ氣ニ悖ラス  
看病懈ルコトナシ秋ヨリハ巨燧ヲ設ケ且倦ム  
時ハ古今ノ物語ナントシテ慰メ食物モ望ム所  
ニ随フ中ニモ酒ヲ嗜シ故貯ヲ絶タズ好ニ随テ  
興正又養生ノ為ニトテ毎年西親ニ附添湯治ニ

連行コト數回其外心ノ及フ程ハ力ヲ盡シ療用  
シテ既ニ病モ平愈シ左子ニサテ鋤ヲ取程ニ成  
シカハ近邊耕作ナト子傳ント云ニ強テ止ムレ  
ハ却テ心ニ逆ハント其終心ニ任セ孝養怠ラス  
家累モ亦甚是ニ和スト聞ユレハ褒錢若干ヲ與  
フ時天明二年十月十日

農夫

万右衛門ハ早ク母ニ後レテ善ク老父ニ仕ル  
父老ノ至レル餘リ衰耄シテ人ヲ辨セス言詔踈

万右衛門

暴ニシテ且詈ル然レトモ能順美シテ心ヲ安セ  
シム寒暑ニモ衣食ノ事ハ云モ更ナリ固リ貧窮  
ナレトモ孝養斯ノ如ク又耕耘ニモ力ヲ用ヒテ  
毎秋上貢ニ怠ラス因テ賞シテ青錢許ヲ與フ  
寛政九年十二月十九日ナリ

農夫勝之丞祖母

登廿

九十ニシテ養老扶持ヲ與へ且尚齒ノ宴會ニ預  
ラシメ以テ年壽ノ高キヲ賞ス寛政十一年二月  
三日ナリ



産物 下ヶ戸並ノ産

埋木 歌箸 牛房

免除地 下ヶ戸

景政寺 常法院

端村

新田村

本村ノ西裏三町許ニアリ戸數六軒屋花ヒトシ

カラス田所ハ本村ト持合ニシテ都テ山林入交

リナリ

石川郡泉莊鳴瀬郷鏡沼

成田村端村上臺

當城ヨリ丑寅ノ方行程五里十八町ニアリ往古  
ハ會津ニ屬スト云フ開發ハ詳カナラサレトモ  
土人ノ記ニヨリテコレヲ考フレハ當國石川ノ  
城主石川昭光ノ末葉成田左衛門尉コレニ居ル  
ト云傳エタレハ其没落ノ後ニ村落トハナリテ  
スナワケソノ氏ヲ用テ村ノ名ニ唱フルナラン  
村長サ南北三町三間村ノ内字ヲ東屋鋪館屋鋪

宿新屋鋪ト云フ四ヶ所合セテ戸數八十五軒ナ  
リ西側ニ列ル田所畑所四方ニ廻リテ西南ハ山  
林ナリ村ノ北端ニ小溝アリテ其源ハ西ノ方高  
野諏訪ノ池ヨリソノク下流ヲ鈴野川ト云フ村  
ノ尾ニテ阿武隈川ニ合ス高賈運輸ノ街道ハ常  
陸ト當國岩城工通ス常陸通りハ三城目村工岩  
城通りハ高田領河邊村工達ス西道トモニ下リ  
ハ須賀川ニテ継ク四達ノ行程ハ東ハ龍崎村工  
十六町地堺阿武隈川渡場迄十町程川ノ前後田

畑飛地アリ西ハ笠石村地堺苧敷清水近十八町  
許々村近一里南ハ三城目村地堺八坊塚近十二  
町四十三間村近二十二町餘北ハ高田領前田川  
村地堺ドンド橋マテ十町三十六間村マテ二十  
六町  
高札場一ヶ所東屋鋪ノ西側ニアリ  
官（並ニ）ヨリ令セラル、掟條目ヲ掲ク其路ハ山ノ高  
山川  
阿武隈川

村ヨリ東三町許ニ流ル幅四十間程廣狹ヒトシ  
カラス舟渡一ヶ所アリ

井堰

高野溜

村ヨリ坤ノ方十五町ニアリ東西七十間南北六  
十間田所三十町程ノ養水トナル

矢包溜

村ヨリ午ノ方十町許ニアリ東西三十間南北百  
間高野溜ノ足合ニナル

麥内溜

村ヨリ午ノ方十町許ニアリ東西三十間南北百  
間高野溜ノ足合ニナル

村ヨリ未申ノ方十町許ニアリ東西八間南北ニ  
亦八間田所三段程ノ養水トナル  
林ヨリ平雁股溜  
村ヨリ午未ノ方八町許ニアリ東西七間南北六  
間田所一町程ノ養水トナル  
林ヨリ中諏訪溜  
村ヨリ戌ノ方五町許ニアリ東西三間南北六十間  
田所二十餘町程ノ養水トナル  
林ヨリ小竹内溜  
村ヨリ乾ノ方五町許ニアリ十二間四方田所一

町程ノ養水トナル  
林ヨリ宮渡溜  
村ヨリ子ノ方四町許ニアリ四方各八間田所七  
段程ノ養水トナル  
林ヨリ濱尾溜  
村ヨリ子ノ方四町許ニアリ東西八間南北七間  
田所七段程ノ養水トナル  
林ヨリ七池  
村ヨリ子丑ノ方四町許ニアリ四方十二間田所  
一町程ノ養水トナル

後山田溜

村ヨリ亥子ノ方五町許ニアリ東西一町南北二  
十間田所三町程ノ養水トナル

高岡溜

村ヨリ坤ノ方五町許ニアリ東西八間南北十間  
田所一町程ノ養水トナル

三ッノ溜

村ヨリ坤ノ方十七町許ニアリ東西八間南北七  
間田所五段程養水トナル

雀田溜

村ヨリ未申ノ方十七町許ニアリ東西二十間南  
北三十間田所三町程ノ養水トナル

次郎溜

村ヨリ申ノ方十三町ニアリ東西二十間許南北  
十三間田所三町程ノ養水トナル

秣場

瀧谷地。萱立山

村ヨリ申酉<sup>〇</sup>方十八町許ニアリ二ヶ所合テ四  
方五町程笠石村ノ地ニ入交ル秣場ナリ

〇後山田。原崎

村ヨリ北十四町許高田領前田川村ノ地へ入交  
ニヶ所合テ東西八町許山澤ノ際ニシテ廣狹ヒ  
トシカラス **此中ノ所ヲ社場トス**

矢包 五輪平

村ヨリ午未ノ方十三町許ニヨリ合テ東西五町

南北四町許 **此三ヶ所ヲ移物トス**

**壇**

糠塚壇

村ノ東側ニアリ高サ二間三尺周廻三十間頂上  
ニ稻荷ノ叢祠ヲ安置ス里老ノ云昔糠ヲ捨テ山

トナリヌ其北畔ニ大日石アリ高サ八尺幅四  
尺厚サ八寸梵字ヲ勒ス元來當村ノ南裏風呂屋  
舗ト云所ニテ風呂臺ニ用ヒシカ何國ヨリカ異  
僧來テコレハ大日ノ碑ナリトテ此所ニ移シ又  
ト云傳フ年代詳ナラス

**神社**

諏訪大明神

社地東西六十間  
南北百二十間

社家

吉田與之正

村ヨリ八町許南ノ山ニアリ石階四十七段ヲ經  
テ本社ニ到ル成田左衛門尉勸諸ト云當村ノ鎮

守トス祭禮ハ七月二十七日十河  
本社五尺四面東向  
拜殿東西二間南北三間  
幣殿一間五尺  
石鳥居高廿一丈幅七尺  
疱瘡神社小祠ナリ  
稻荷社小祠ナリ  
雷神社小祠ナリ  
石寶殿三社共ニ小祠ナリ  
五龍地明神社社地東西二間南北三間  
社家吉田奥之正

村ヨリ乾ノ方五町許ニアリ翼ニ面ス小祠ナリ  
鳥居祭日ナシ勸請詳ナラス  
水雲明神社地東西二間南北三間社家吉田奥之正  
村ヨリ戌亥ノ方七町許ニアリ小祠ナリ五龍地  
明神ト共ニ昔シ古屋鋪ノ氏神ト云鳥居祭禮ナ  
シ勸請詳ナラス  
諏訪社社地間敷詳ナラス社家吉田奥之正  
村ヨリ戌ノ方五町許諏訪池ノ北ニアリ翼ニ面  
ス小祠ナリ祭禮ナシ

白山権現社

社地東北西二間南北十五間

農夫

庄吉持

新屋鋪ノ東北ニアリ南向小祠ナリ農夫庄吉持

吉田奥之正支配 祭ハ九月十五日ニテ吉田奥之正預リ行フ

拜殿 東西三間南北二間

瑞籬 東西六尺南北九尺

鳥居 高廿七尺幅六尺

天神社

社地東西三十間南北二十間

別當 成福寺

成福寺境内ヨリ續テ南ノ方ノ山ニアリ東向小

祠ナリ祭ハ七月二十五日

釜毘羅社

山上ニシテ社地間數ヲ定メス

別當 成福寺

成福寺ヨリ八町許巽ノ方陳ケ岡ニアリ東向小

祠ナリ祭ハ十月十日ナリ

鳥居 高廿七尺幅六尺

佛場

石阿彌陀堂

農夫

平吉持

高札場ヨリ三町許西ノ方松山ニアリ堂二間四

方南向三尊ノ阿彌陀ナリ中尊ハ自然石ニテ高

廿四尺五寸幅二尺厚廿七寸左尊ハ高廿四尺幅

二尺厚廿七寸皆立像ヲ彫ル右右尊ハ高廿四尺幅

一尺八寸厚廿五寸梵字ヲ勒ス往古道前ト云比



丘尼コノ傍ニ草庵ヲ結ビコレヨリ五町許南ニ  
牛箇骨ト云田所ニ至リ清水ヲ汲朝暮怠ラス關  
伽ノ水ニ捧ケシト云ソノ清水今モ清ラカナリ  
化粧清水トナツク堂守ハ館屋鋪平吉ナリ四代  
ノ祖ニ清兵衛ト云者アリ其自然石ナルヲ試シ  
ト地ヲ堀ルコト五六尺許ナリシカ根底深コト  
幾許ト云ヲ知ラサレハ力尽テ終ニ止ヌソレヨ  
リ狂人トナリヌ家人是ヲ愁正神祇呪詛ニケレ  
ハ阿彌陀ノ崇ナリトソ因テ前非ヲ悔ヒコトボ  
テ信心厚アリシカハ狂氣乍愈テ元ノ如シト里

老ノ語口碎ニ長シリ

鼻取地藏

農夫 関右馬持

高札場ヨリ南五町許ニ畑中ニアリ石仏坐像西  
向ナリ長ケ一尺八寸農夫關右衛門持往古ハ村  
ヨリ北三町許ニアリシカ今ハ林トナル字地藏  
堂ト唱フ初メ供田ノ施主田植ル時アラケレ一  
人ニテイカハハセント路傍ヲ顧ルニ伊勢參姿  
ナルモノ来リテ馬ノ鼻ヲ取カラ添ケレハ忽植  
終リヌ田主大ニ悦ヒ日モハヤ西ニ春ケレハ農  
具ニキマトヒセメテ一飯ヲモ進メサキノ勞ニ

報ント歸路ニヲモムキカ見エレハ終ニ其  
所在ヲ失フ希有ノ事ニ思ヒ翌日未明ニ又彼所  
ニ至リ見ルニ只地藏ノ泥ニマシレタルアリ是  
全クキノフノ靈助ナルコト疑ヘクモナケレハ  
奇異ノ思ヒヲナシヌトソレヨリ此號アリト云  
其後イツノ比ニカ今ノ地ニ移シヌ縁日三月二  
十四日ナリ一又ハ中興開山ノ古  
新屋鋪ニアリ  
堂ハ東西五間南北二間十王坐像長一尺作詳ナ

十王堂

境内東西十四間南北八間

新屋鋪ニアリ

ラス  
寺院

成福寺

境内東西百八十八間南北百二十間

村ヨリ南三丁許ニ山半腹ニアリ境内前ニ田所  
ヲ受ケ阿武隈川ヲ障テ岩峯寺山ヲ望ム最佳景  
ナリ真言宗ニテ山號ヲ瑠璃山院號ヲ東鏡院ト  
云當國石川郡石川町藥王寺ノ末山ナリ往古ノ  
開基詳ナラス中興開山ハ元禄年間宥長和尚ナ  
リ初メ成田左衛門尉當所城主ノ時館内ニ成福  
寺屋鋪アリト此寺元來驛中ニアリテ門徒ニメ

寺號王成田寺ト云本多下野守忠平ノ時今ノ寺  
號ニ改メ末寺トハナリヌ  
按ルニ元來成福寺境内ナルヲ成田家ニテ梵  
字ヲ廢シ館ヲ築キシ時寺ノ蹟ナル所ヲ成福  
寺屋鋪ト唱ルカ然ラサルハ廢城ノ後其所ヘ  
寺ヲ建テ成田家ノ所領ナレハトテ其姓ヲ以  
テ寺號トスルカ今ノ寺號ハ其マハ舊ニ因テ  
唱ルナラン  
客殿東西八間南北六間東向本尊阿彌陀如來  
長二尺木佛坐像茲覺大師ノ作

庫裡東西六間南北三間  
鐘樓二間四方二間  
藥師堂二間四方二間東向本堂ノ右ニアリ本尊  
長二尺木佛立像德一大師ノ作緣日四月十二日  
古蹟

地山館

高札場ヨリ戌亥ノ方三丁許ニアリ一丁四方程  
ノ小高キ所ナリ西ノ方ニ字大城内ト云畑アリ  
高札場ヨリ南五丁許ニアリ今テ畑ノ字トス

空隍アリ周廻東西一丁南北三中間程ナリ小サ  
キ壇ニケ所アリコレハ櫓臺ノ蹟ト云

高上館屋鋪

今ノ属村館屋鋪是ナリ社家吉田奥之正居宅ト

ス豎十三間横十二間館蹟ナルニ因テ屋鋪ノ稱

アリト云

昇二人物

寡婦

美與

美與ハ寡婦ニシテ老母アリ貧モ亦常ナラス然

レトモ農ヲ勤テ秋納闕コトナシ能老母ニ事テ

孝養怠タラス斯レテ亡キ夫ノ戸籍ヲ絶サ

ト丈夫ニモ勝レルモノ多カリキ因テコレヲ賞

シテ青錢許ヌヲ下シ與フ時ニ寛政四年十二月

二十日ナリ

農夫

久右衛門父

自得

九十ニシテ養老扶持ヲ與ヒ寛政十一年二月三

日尚齒ノ寡ヲ設テ其年壽ノ高テ賞ス時ニ年九

十二ナリ

十農夫

七兵衛

九十ニシテ養老扶持ヲ與

ラシム時ニ寛政十一年二月三日ナリ

農夫

磯右衛門母

波津

九十ニシテ養老扶持ヲ與

十五日ナリ

農夫

市右衛門母

嘉留

九十ニシテ養老扶持ヲ與

三日ナリ

免除地下ケリ

成福寺

端村

上ノ臺

本村ヨリ申酉ノ方二町許ニアリ村長サ七十間

餘戸數二十軒南方ニ山ヲ受ケ其餘ハ三十田

所ナリ

神社

愛宕社

社地東西四十間南北十八間

村ノ南端山上ニアリ

社二間四上二間東向石階北ニアリ祭ハ六月廿四日

鳥居高サ八尺幅七尺

